

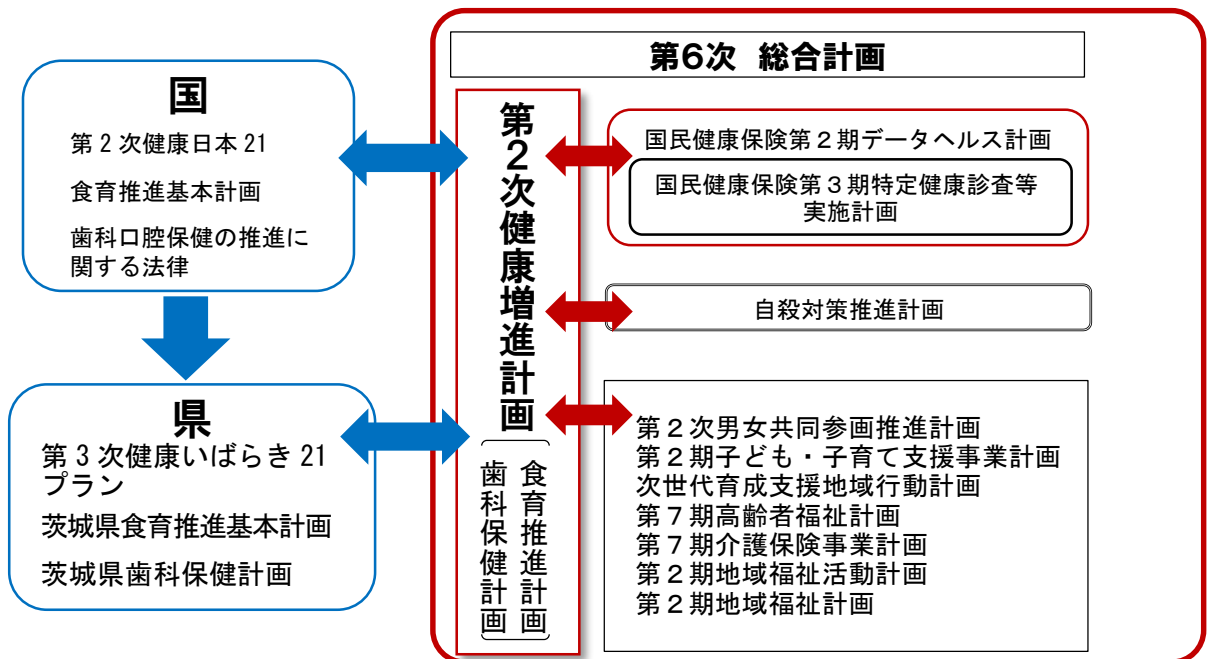
## 常陸太田市 第2次健康増進計画概要

### 1 計画策定の趣旨及び背景

本市では、平成27年3月から平成31年度までの5年間の計画期間とする「健康増進計画」を策定し、生活習慣病の一次予防に重点を置くとともに病気の早期発見・早期対応のための二次予防を重視し、健康寿命の延伸を図るとともに市民一人ひとりが日常生活の中で実践できる健康づくりを推進してきました。

平成29年度には、「健康増進計画」の重点課題である「生活習慣病者の増加」を防ぐために、過去3年間における市内103町別の市民の健診データ、国民健康保険に関する医療費データの分析を行い、地域に応じた取り組みと各種健（検）診の受診率向上など様々な生活習慣病予防に取り組んできましたが、生活習慣病による死亡率が依然として高いため、引き続き、生活習慣病の一次・二次予防に重点を置き、さらには、重症化を防ぐための三次予防も取り入れ、健康寿命の延伸を目指し第2次健康増進計画を策定します。

### 2 計画の位置付け



### 3 計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5か年計画とします。

区分	年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
健康増進計画 〔食育推進計画 歯科保健計画〕				中間評価	アンケート調査	評価と見直し

## 4 健康課題と重点目標

### (1) 健康課題

本市の健康課題は、下記のとおりとなっており、「生活習慣病に関する健康課題」「高齢者に関する健康課題」「こころの健康に関する健康課題」の3つに分類されることから、重点課題は、以下のとおりとなります。

- ① 死亡率の高い生活習慣病のリスクを抱えている人が多い。
- ② 要支援・要介護認定者が年々増えている。
- ③ 自殺者は幅広い年齢層にみられ、特に男性に多い。

- ・死亡率の高い生活習慣病のリスクを抱えている人が多い。
- ・生活習慣病関連及び統合失調症等精神疾患の医療費・受療率が高い。
- ・食習慣に問題（朝食の欠食・野菜不足・塩分のとり過ぎ・就寝前2時間以内に夕食をとる）がある。
- ・特定健康診査の結果において、高血圧者や脂質代謝に異常のある者が多く、「要医療」となっても未受診や治療中断者が多い。
- ・壮年期において、若い時から比べ体重が増加している者の割合が増えている。
- ・妊娠中に喫煙はやめても産後再び喫煙する産婦や妊婦の夫の喫煙者が多い。
- ・1歳6ヶ月児健診から3歳児健診にかけてむし歯保有率が急激に高くなっている。
- ・歯科健診を定期的に受診している者が少なく、高齢になるにつれ要精密となる者の割合が高い。
- ・要支援・要介護認定者数が年々増えている。
- ・高齢期に「筋・骨疾患」の有病者が多い。
- ・自殺者は幅広い年齢層にみられ、特に男性に多い。
- ・休養がとれていない者の割合が高くなっている。
- ・統合失調症等の精神疾患に関する医療費・受療率が高い。

### (2) 重点目標

3つの重点課題を踏まえ、次の3つを重点目標とします。

- ① 「ワースト3疾患による死亡率の減少」については、現状値の10%減を目標とします。
- ② 「元気な高齢者の増加⇔65歳以上の方の健康だと思う人の割合」については、県の第3次健康いばらきプランと同様の85%を目標とします。
- ③ 「自殺死亡率の減少」は、過去5年間の実績の平均値である18.39の30%減である12.9以下を目標とします。

	内 容		常陸太田市	
			現 状	目標値 (R6)
1	ワースト3疾患による死亡率の減少 (人口10万対)	悪性新生物	379.3 (H29)	341.4
		心 疾 患	300.3 (H29)	270.3
		脳 血 管 疾 患	160.0 (H29)	144.0
2	元気な高齢者の増加⇔65歳以上の方の健康だと思う人の割合		66.5% (H30)	85.0%
3	自殺死亡率の減少 (人口10万対)		18.39 (H25~29の平均値)	12.9以下

## 5 健康づくり推進の基本的な考え方

### (1) 計画の目標

#### 健康寿命の延伸

若年者から高齢者まで市民一人ひとりが元気で生き生きとした生活を送るために、**市民の健康寿命と医療費の削減**を目指します。

### (2) 計画の基本理念

#### みんなでチャレンジ健康づくり みんなでつかもう未来の健康

赤ちゃんからお年寄りまでそれぞれの年代で、個人の努力と家庭、地域、行政などが一体となって健康寿命を伸ばすための取り組みを行います。

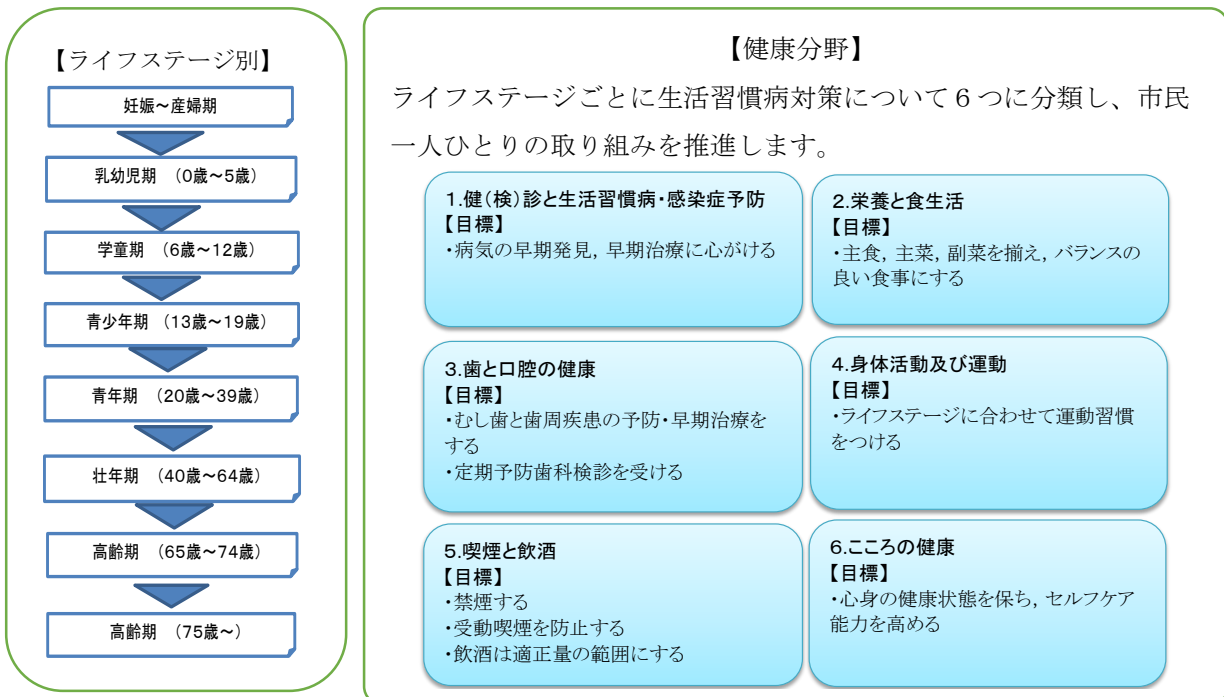
### (3) 基本方針

3つの基本方針①各世代に対応した健康づくり②生活習慣病予防の推進③市民と社会全体の取り組みにより健康づくりを推進していきます。

#### ① 各世代に対応した健康づくり

健康づくりは、各世代に対応した取り組みが重要です。

個人・家庭・地域・行政などでの取り組みを示し、市民の主体的な健康づくりを推進します。



#### ② 生活習慣病予防の推進

病気の発症を防ぎ健康を保持増進する「一次予防」、病気や障害を早期に発見し、早期に対応する「二次予防」さらに重症化予防としての「三次予防」を推進し、健康寿命の延伸を図ります。

### ③ 市民と社会全体で取り組む健康づくり

本市では、町会やボランティア団体、サークル活動などの多くの団体がそれぞれ持つ多様な手段、機会を有効に活用し地域活動や運動習慣づくりの活動を行っています。市民一人一人の力と社会の力を合わせることで、健康づくりの輪が広められるように努めます。

## 6 計画の推進体制

本計画の実現を効果的に推進していくために、健康づくりに携わる地域、職場、学校、行政等関係機関がそれぞれの役割を担いつつ、社会全体が一体となって取り組むことのできる仕組みを整備し、推進します。

## 7 計画の進行管理と評価

第2次健康増進計画が有効に機能するために、「常陸太田市健康づくり推進協議会」において、中間年度及び最終年度に実施状況の進行管理を行います。

また、各種施策の推進にあたっては、健康づくりに関わる実務者によるワーキング部会（健康づくり、栄養・食育、こころの健康対策）により事業の推進及び見直し等の検討を行います。

